

# ラピアが 憩いの広場に

## 交流・にぎわいづくりを目指した「まちなかシンボル広場」

平成 25 年 9 月、まちなかに賑わいをもたらすための交流拠点とデマンドバスの待合所として、まち・あいステーションラピアが早来市街地にオープンしました。以降、ラピアと裏の広場を中心とした、商店街やまちなかの賑わい活性化、人が回遊し流れる仕掛けづくりなどをテーマに、地域の住民・団体が参加したワークショップでのアイデアを基に施設の整備を進め、晴れて 12 月にラピアの広場が完成しました。

広場は、<sup>あずまや</sup>四阿やベンチの休憩施設と幼児も遊べ、涼めるよう親水施設を整備し、既存のヒバの木などの樹木を極力残しつつ、新たに植栽を施し緑の空間を確保。「馬」の形をしたコンビネーション遊具は、「遊び」の機能に加え、町のシンボルといえる「馬」を PR し、子どもや高齢者がくつろぎ・楽しめる場所となっています。

広場は随時利用可能ですが、親水施設はゴールデンウィーク以降の稼動を予定しています。

広場は、誰もが利用する場所です。  
マナーを守り、お互い譲り合いながら  
利用しましょう。



ラピア駐車場側からのイメージ



ラピア裏町道側からのイメージ